

沖縄カトリック中学高等学校 学校通信 <h1 style="text-align: center;">野ばら</h1>	発行 沖縄カトリック中学高等学校 〒901-2215 宜野湾市真栄原3-16-1 TEL 098-897-3300 http://www.catholic-okinawa.ed.jp/ 2012年9月29日
10月号	



「団体戦」の強み

校長 夏見隆晴

わたしにとって今年の夏の一番の楽しみは、ロンドンオリンピックのテレビ観戦でした。ことに団体競技には、文字通り「手に汗を握る」状態で応援を送っていました。男子サッカーなど、「行けー」と独り声を挙げている自分に気づいて苦笑いする始末でした。体操など個人種目のある競技でも、団体戦の方に一層力を入れて応援するのが常となっています。仲間が居るから頑張れるというのが、わたしの考え方であるからでしょう。

今年の中学生の地区陸上競技大会も、わたしたちの学校が小規模校であるにもかかわらず頑張れたのは、仲間として力を合わせることができたからです。このことは、スポーツの世界に限ったことではありません。

今年の高校3年生の大学入試も既に始まりました。この大学入試もまた、わたしは団体戦であると考えています。普通に考えれば、入学試験を受けるということは個人的なことです。でもその考え方は間違っています。同じように大学入試を目指して頑張っている仲間たちが居るから、自分も頑張れるのです。そして同じような意識を持った仲間が多く居れば居るほど、自分の励みにもなるのです。幸いわたしたちの学校の生徒たちは皆が将来への目標をもち、日々努力を重ねてくれていますので、どの学年も立派な成績を収めてくれるものと期待をしております。そしてわたしたち教師一同も、頑張っている生徒たちのために出来る限りのことはしたいと常々話し合っております。

またわたしたちの学校では、他校に比べて学習や行事などに共同作業を多くさせています。これも、ややもすると受験のことを考えると「競争」、「ライバル」、「孤独」などという言葉で学校生活を括ることになる弊害を避けるためであります。しかし、わたしは大学受験こそみんなで助け合って合格を勝ち取ってもらいたいと考えているのです。そこで、できるだけ多くの同じ学校生活を全員に課して、同じ苦勞を分かち合うようにと強制もしているのです。でも本当のところは、苦勞と言うほどの苦勞でもないのです。学校でしなければならぬ苦勞など、苦勞の中に入るものではありません。社会に出たときに解ることですが、それは懐かしくさえ思える程度のものに過ぎません。

受験に成功した生徒たちというのは、試験間近になると校内のあちこちでグループを作り、輪になって楽しそうに話し合っています。その内容は試験問題に関連することですが、上手に遊びを取り入れております。わたしなど、自分の教え方のまずさを痛感させられて

ばかりでした。仲間と学びながら遊ぶ、遊びながら学ぶ、そしてそれは自然と各々が自分に欠けたところを気づいていくという、大変優れた学習法であるということです。わたしたちの学校にもこうした仲間が増え、団体戦の勝利の芽が伸びてきているように感じます。

サムシング・グレート



英語科

ダンカン 啓子

「お母さん、神さま、信じる？」ベッドのなかで小学生の娘が聞く。

「わからないなあ…」と母。

…

母「いつから神さまがいると思うようになったの？」

娘「お父さんが、小さいときからずっと話してくれてたから…おじいちゃんは、お母さんが小さい時話してくれなかったの？」

母「う〜ん、おじいちゃんは、神さまも仏さまも信じていない環境で育った人だからね」

娘「おじいちゃんは、お母さんにとって、いい影響者じゃなかったんだね」

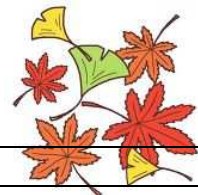
母「神さまを信じていない人は、いい人じゃないということ？」

娘「…じゃないけど…私は神さまがいるって信じているから」

母「お母さんは、宇宙や自然の中にある、人間にはどうすることもできない、何か‘偉大な力’(Something Great)のあるのは信じるよ。でも、それが神様か仏様か何なのかが、わからないという意味だよ」

折々に、小さかった娘と交わした会話(英語)を記録してあった。あらためて読み返してみると、上のようなことが書かれていた。娘が父親の影響を強く受け天文に興味を持つようになり、天体望遠鏡を買い与えた年であった。その7年前の記録を確認した理由は、「サムシング・グレート」の存在を、もう一つの親、と表した筑波大学名誉教授、村上和雄氏の『遺伝子』研究についての本を読んだからである。宇宙空間を眺め、人間の魂と身体はどこから来たのだろうか考えると誰もが行きあたる一点だと思う。村上氏の著書を読んでから、何事につけ「アースされているから大丈夫」と考えるようになった。サムシング・グレートの存在は私の中でかなりの位置を占めるようになっている。7年前までの私のマザーリング(Mothering)は、点にするとかなり低いと思う。いまなら娘との会話を含め、学校でも子どもたちに安心感を与える「ことば」でアプローチできそうに思う。日々、十代の子どもたちを前に過ごしていると、私は他界した両親を「喜ばす」ことができたかどうか振り返ることがある。いま私は、サムシング・グレートの存在を語れる環境にいる子どもたちに喜ばせてもらっていると感謝している。





日・曜日	行事計画
3日(水)	完全下校16:20
8日(月)	体育の日
9日(火)	第3回定期試験 ~10日(水) ※高校生は11日(木)まで
13日(土)	総合
16日(火)	中学2年生修学旅行 ~19日(金)
24日(水)	完全下校16:20
25日(木)	Benese 駿台記述模試①6年生 総合学力記述②4, 5年生 学力推移1~3年生
27日(土)	総合

お知らせ



高校生及び保護者の皆様を対象とした、親子で考える進学費用対策「奨学金のすすめ」講演会を開催致します(大学・専門学校進学者対象)。日時は、**10月31日(水)17:00~18:15**に中高のホールにて講師、久米忠史氏(奨学金なるほど相談所代表)をお招きして行います。参加の有無に関しましては、後日一斉送信メールを配信致しますのでご連絡下さい。保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

■講演内容

奨学金予約採用前のポイント編

進学費用の目安/奨学金の基礎知識/奨学金を申し込む際のポイント/地方自治体、大学独自などその他の奨学金/奨学金の落とし穴/入学手続き費用対策/教育ローンの基礎知識/労働金庫の入学時必要資金融資/奨学金の返済額の目安etc...

奨学金予約採用後の実践編

予約した項目の意味を理解/最終手続きで変更できるポイント/在学採用のポイントと注意点/在学採用を上手く活用する方法/返済利息の節約術/奨学金返済の注意点/奨学金を滞納した場合の実例/安く進学する方法~二部、三部への進学~/福祉分野奨学金/最近の就職事情/大卒のフリーターにならないための注意点etc